

夢を追う
みんなへエール

佐々木ひまわり

Himawari Sasaki

アイドルグループ「Hey! Mommy!」

PROFILE

1999年8月1日、米子市生まれ。大学時代にアイドルオーディションに挑戦し、2021年11月に「Hey! Mommy!」としてデビュー。東京都を中心に活動するほか、鳥取県の魅力を伝える「とっとりdiaryインフルエンサー」を23年から務める。

©NRC PRODUCTION

Q4 人生のモットー、佐々木さんの夢を教えてください。

「肅々と、真面目に」がモットーです。事務所の社長が、私が以前悩んでいたときにかけてくださった言葉です。夢は、Hey! Mommy!として武道館に立つこと、女優としても成功して鳥取県の良さを多くの人に伝えること。夢に向かって、現在は東京都のホールやライブハウスを中心にライブなどを行っています。

Q5 高校生にエールをお願いします。

たくさんの方にぶつかるとは思いますが、自分を信じ、今しかできないこと、やりたいことを突き詰めることが大切だと思います。私は高校生の頃は将来の夢が見つからず悩んでいましたが、吹奏楽に一生懸命に取り組み、生物が好きという理由で理系を選択したおかげで、大学で学びたいことが分かりました。その後、大学で楽しく勉強をしていたら急にアイドルになりたいと思い、それをかなえることもできました。とにかく前に進んでいけば、急にやりたいことがふっと見つかる時がくると思います。

Q1

幼少期、鳥取県ではどんな生活をされていましたか。

自然が大好きで、海や山に何度も出かけました。夏は家族で皆生に海水浴に行き、冬はだいせんホワイトリゾートでスキーを楽しみました。このほかにも、みるくの里(伯耆町)の芝生やマウンテンストリーム(同)の溪流、森の国(大山町)のアスレチックで遊んだことも良い思い出です。

中高生の頃は、吹奏楽に夢中だったそうですね。

Q2

小学生の頃は金管バンドのほか、水泳と陸上競技をやっていました。中学校に入学した際、どの部活にするか悩みましたが、新入生歓迎会で「バーベキューに行ける」と言われたことが決め手となり、吹奏楽部に入りました。吹奏楽で全国大会に出場するという夢を抱き、高校は親元を離れて岡山県の学校に進学しました。目標だった全日本吹奏楽コンクールに出場して金賞を受賞することができ、頑張ることの大切さを学びました。

Q3

アイドルを目指した理由は何ですか。

振付師の槇田紗子さんがアイドルを募集していることを知り、直感で応募しました。私はダンスが苦手だったので、「審査員の目に留まるためには配信で勝負するしかない」と作戦を立てました。芸能活動をしたことがなかったため視聴者0人からのスタートでしたが、平均8時間の配信を毎日続けたことで、最終審査が始まる頃にはフォロワーが3千人まで増えました。約千人が応募したオーディションで、メンバーの一人に選ばれました。

